

秋谷祐子 Yuko Akiya



「いまを生きる」75×45×40cm ベース(陶器)、ステンレス、アクリルファイバー、鉛シート他

“如何にして、花をアートにし得るか歩む”

作家は華道家としての長いキャリアを持つ。その修練の中で掴んだ一つの信念を、《人の心の渴きを癒すオアシス》というコンセプトに高めて創作活動を展開する。花は、人が生きてあると言う事実の前ではかりそめの存在か。如何にして花をアートにし得るのかという問いに答える歩みだ。根底にある思いは、生の永遠性か。それは一つの命が永らえるものではなく、連鎖と繋がるも

の。だから、《心と心のリレー、ヒューマンリレーション》との言葉が示されている。素材は陶器、ステンレス、アクリルファイバー…器から花までの全てが無彩色で、メタリックな、或いは無機質の冷たい光を放つこのオブジェには《今を力強く無限の力を信じて生きていくならば、明日の未来はもっと輝くだろう》という作者の思いが込められている。

文/クリスティーヌ・モノー

PROFILE

1953年北海道生まれ。華道家。EPJフレッシュ・ブリーザー・フラワー講師、ギャラリーインプレッション(札幌)主宰、UB [Japan Art Collection in Prague ~日本0巻] 出品、UB米米クラブ 石井孝治氏とのコラボレーションイベント [SPACE IMPRESSION] (東京) を開催、札幌シティー美術館主催ウィンアートラベル展受賞、作品集 [Impression] 出版、10ショウ/01生誕200周年記念芸術シンポジウムアートラベル展受賞、11TBSサカスアー・スポット展示、日経主催主催2011出版、第1回アーティフィシャルフラワー大賞 2011インテリア部門受賞、[アート・インターナショナル・チューリッヒ] アートフェア出版、12日経主催主催2012出版予定、エルミタージュ美術館日本・美術館ショップにて展示販売予定